

平成23年(2011年)の東北地方太平洋沖地震の状況

■発生日時

平成23年3月11日(金)午後2時46分頃

■震央地名、震源の深さ

三陸沖(北緯38.0度、東経142.9度)

牡鹿半島東南東約130km付近 約24km

■規模

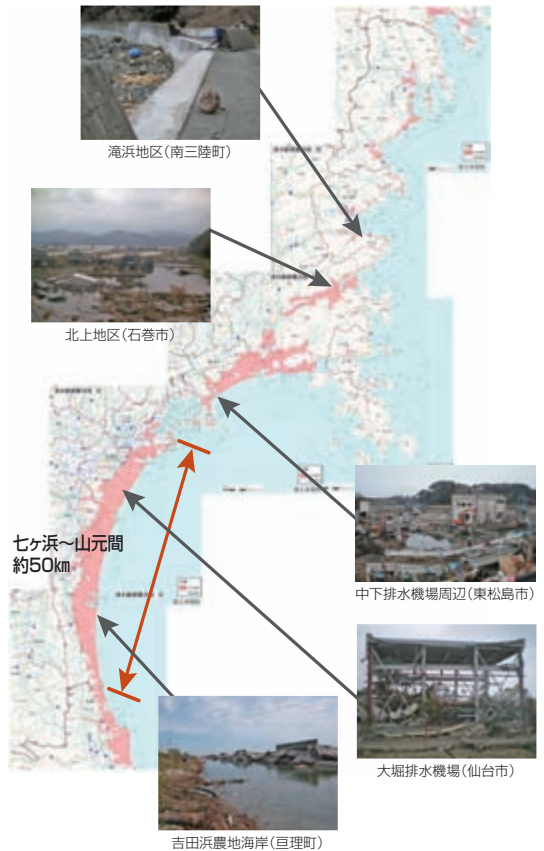
マグニチュード9.0

最大震度7(栗原市)

■津波の高さ

- ・石巻市鮎川 8.6m以上
※津波計等による津波の最大の高さ
(平成23年6月3日仙台管区気象台発表)
- ・仙台港 7.2m
※痕跡等から推定した津波の高さ
(平成23年4月5日仙台管区気象台発表)
- ※参考:「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による推定
- 南三陸町志津川 15.9m
- 女川漁港 14.8m
- 南三陸町歌津 14.7m
- ※最大で内陸6kmまで津波が到達
- ※県土の4.5%に当たる327km²が浸水

■津波被害の状況



農林水産関係被害額の状況 (平成23年12月6日現在)

全体被害額: 約1兆2,286億円 (うち津波被害額: 約1兆1,944億円)

■農業関連被害 …… 約5,144億円

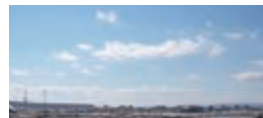
- うち農地・用排水機場等被害 約3,812億円
- うち集落排水施設等被害 約269億円
- うち農地海岸保全施設被害 約245億円
- ・農地の浸水(14,341ha)
- ・海岸防潮堤破損(26.5km)
- ・用排水路、農道等の損壊(4,617箇所)

■畜産関連被害 …… 約50億円

■林業関係被害 …… 約140億円

■水産業関連被害 …… 約6,859億円

■その他(県管理施設等) …… 約93億円

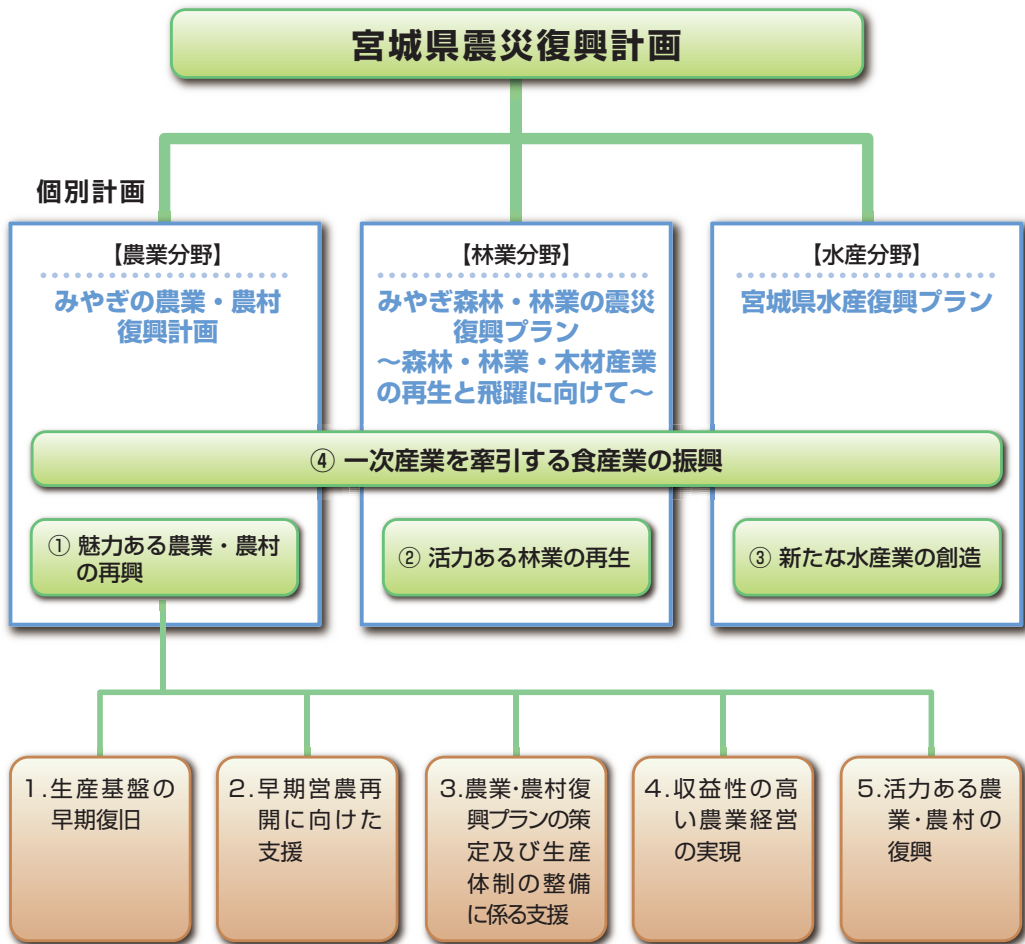


農地の浸水(仙台市)



津波による排水機場の被災(山元町)

宮城県震災復興計画における分野別の復興の方向性（農業・林業・水産業）



農地復旧・復興に係る基本的考え方

○「みやぎの農業・農村復興計画」において、「農地の面的な集約・経営の大規模化・高付加価値化」を図っていくこととしており、このため、可能な限り、経営体育成基盤整備事業（区画整理）に加え、農業経営高度化促進事業等の土地利用調整等の効果的・効率的実施に資するソフト施策を適切に組合せる必要があります。

○また、営農の早期再開を目指すため、原形復旧による一時利用を行いつつ、並行して区画整理等を進めるなど、地域の実情を踏まえ、適切に推進します。

○農地の復旧・復興に当たっては、土地改良区が本来有する土地利用調整機能を活用し、地域の合意形成を通じた地域づくりや農村コミュニティの再生に対して一定の役割が担うことが期待されます。